

事業者向け 放課後等デイサービス 自己評価結果表

事業所名 (特非)発達支援ネットワークつむぎ つむぎ高梁

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点 改善目標	それを踏まえた対応
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		2	3	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの遊びの様子を観察して構造化を行っている。 14名を超えると狭いと感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 見守りのできる職員の立ち位置、利用人数に応じた配置を工夫します。 支援をしながら常に再構造化の視点を持ち、職員間で話し合い。迅速に改善します。 過ごしやすい環境を配慮し、常に見直しをします。
	2	職員の配置数は適切である	1	4		<ul style="list-style-type: none"> 職員数は指定基準を順守し配置を行っています。利用人数に応じて職員の増員を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 指定基準を順守した配置を行っています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		3	2	<ul style="list-style-type: none"> 必要な児は階段昇降時の見守りを行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動エリアが1階2階に分かれているためバリアフリー化は難しい状況があります。必要な箇所の見守りを行います。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	1			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			<ul style="list-style-type: none"> なるべく多くのアンケートが回収できるよう、メールにてご案内させていただく。 	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1		<ul style="list-style-type: none"> ホームページで公開している。 	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	3		<ul style="list-style-type: none"> 外部の方に法人理事に就任していただき、外部の視点から評価をいただく機会が増えている。 	

適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5			<ul style="list-style-type: none"> ・2か月に1回 スタッフ学習会の骨子 ・毎月療育会議の実施。 ・年に複数回の講演会。 ・自己啓発参加型、他法人からの研修案内をオープンにしている。 	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5				
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	2		<ul style="list-style-type: none"> ・半年に1回、お子さんのアセスメントを行い、必要な課題を設定しています。また、ご家庭のニーズと評価アセスメントを踏まえた課題の設定を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各職員のアイデアや意見を取り入れながら検討し、チームリーダーを中心に立案しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1		<ul style="list-style-type: none"> ・半年に1回、お子さんのアセスメントを行い、必要な課題を設定しています。また、ご家庭のニーズと評価アセスメントを踏まえた課題の設定を行っています。 ・週間の小集団活動を計画して実施している。 	
	13	平日、休日、長期休暇にに応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	1		<ul style="list-style-type: none"> ・長期休み用のプログラムを計画実施している。 	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5				

15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	2	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・昼礼時に確認している。 ・運営表、送迎表により各職員が確認できるようにしている。各職員に当日の役割分担を伝えている。 	
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・昼礼時に情報を共有している。 ・共有内容を部門ごとの情報共有ネットワークにより出勤時等いつでも確認できるようにしている。 	・タイムリーに情報共有ができるように担当から発信しています。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1		<ul style="list-style-type: none"> ・支援記録への記入を行い、毎日コピーして保存している。評価を確認して次回以降の支援計画に反映させている。 	
18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5				
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っている	5				
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5				
21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	4				
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・現在該当利用がありません。 	
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5				

関係機関や保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	1			・保護者および事業所からの要望があった際には、情報提供およびケース会議へ参加させていただき体制を取らせていただいています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5					
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		2	3			・地域イベントに子ども向けの出席を行うことにより、場を設けています。※今年度はコロナ禍のためイベント開催中止 ・お子さんの所属機関に保育所等訪問に行かせていただき、学内の他児との関わりの様子を確認させて頂いています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	1				・法人職員が毎月参加し、情報を共有しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	1				申し送り、支援計画の評価及び更新作成の面談、相談事業所実施の会議、事業所内相談(ご希望により)時に共通理解を図らせていただいています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5					
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5					
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5					
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	1			・法人内に事務局があり、法人職員はサポーター会員として活動をサポートしている。 ・座談会、講演会、ペアトシを計画実施している。		

保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	1		・苦情の受付シートにより内容を把握、対策を検討実施、報告させていただいている。	・苦情等の主訴を確実に把握し、より迅速な改善策立案と対応の実施、実施後の報告に努めます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5				
	35	個人情報に十分注意している	5				
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		3	1	・講演会、イベントの広報をしている。	・地域のイベントへの出店を計画検討している。（今年度は新型コロナのため中止）
非常時の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4				

43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5			事故防止対策委員会を設置し、データ集約している。	再発防止の取り組みとして、事故等の案件が起きた時は、法人全体に注意を促すよう掲示板を流しています。
----	---------------------------	---	--	--	--------------------------	---------------------------------------------------

(特非) 発達支援ネットワークつむぎH30. 9.1～

|